

2025年2月13日

各位

Mitsubishi UFJ Asset Management (UK) Ltd.
株式会社三菱 UFJ トラスト投資工学研究所

英国学会誌「Journal of Sustainable Finance & Investment」に論文が掲載されました

サステナブルファイナンス等の領域への貢献を目的とした英国学会誌「Journal of Sustainable Finance & Investment」に、下記の論文が掲載されました。この論文は、Mitsubishi UFJ Asset Management (UK)樋口裕之、鴻丸靖弘、長谷川健人、三菱 UFJ トラスト投資工学研究所須田真太郎、北島貴一の共著となります。

- 論文 (Assessing the role of ESG evaluation in market risk management for sovereign bond investments)
https://www.tr.mufg.jp/new_assets/ippan/topics/pdf/250213_2.pdf
- (ご参考) 英国学会誌「Journal of Sustainable Finance & Investment」
<https://www.tandfonline.com/journals/tsfi20>

ESG 投資における評価やパフォーマンスは主に個別株に集中する中、ソブリン ESG に関する論文は世界でも非常に稀であり、発展途上の分野であると言えます。また、それを運用に活かした事例は貴重なものになります。Mitsubishi UFJ Asset Management (UK)インベストメントチーム（以下同チーム）では、三菱 UFJ トラスト投資工学研究所と協業し、同分析について今後もさらに深化させ運用パフォーマンスの向上を図ると同時に、同分野の研究・対外発信を行うことでソブリンの ESG 分野の発展に貢献したいと考えております。

同チームでは FTSE 外国債券ベンチマーク運用において、世界 20 以上国以上に投資する中、従来から用いられている各国のマクロ経済分析に加え、先行きのマネーフローを予測すべく地政学分析に重きを置き、足許高パフォーマンスを上げております。地政学の分析においては、現在の国際情勢に加え、歴史認識、貿易フローなど様々な要素が絡み合い、各国の潜在的な地政学リスクを横比較することは運用者のスキルに依存するところがあります。そこで今般、ソブリンの ESG 関連指標を用いて定量的に各国の潜在的なリスクを測り、特定の局面において同尺度がその潜在的なリスクを示唆することを観察いたしました。同分析の要素は既に同チームにおいて定性判断のベースになっている他、各国のモニタリングに使用されております。

➤ 報告者・共著者

・Mitsubishi UFJ Asset Management (UK)

主に年金のお客様を中心に、外国債券のファンドを提供。マクロ経済、地政学、クオンツ分析などを強みとし、足許高パフォーマンスを記録。

チーフファンドマネージャー：樋口 裕之 シニアファンドマネージャー：鴻丸 靖弘

エンゲージメントマネージャー：長谷川 健人

・三菱 UFJ トラスト投資工学研究所

親会社である三菱 UFJ 信託銀行や MUFG グループを中心とした金融機関のお客様に対して資産運用やリスク管理、データサイエンス領域の調査・研究サービスを提供。

主任研究員：須田 真太郎

研究員：北島 貴一

なお、同チームにおいては、過去より本テーマで論文報告、掲載が行なわれております。以下ご参考ください。

・日本ファイナンス学会での論文報告

<https://www.tr.mufg.jp/ippan/topics/pdf/230524.pdf>

・三菱 UFJ 信託資産運用情報 2024 年 4 月号への掲載

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/pdf/u202404_1.pdf

以上